

まちづくり推進特別委員会行政視察報告

まちづくり推進特別委員会では、倉吉市と出雲市を行政視察しました。
概要は以下のとおりです。

(実施期間) 令和7年10月15日～令和7年10月17日

(視察都市) 倉吉市、出雲市

(視察内容) 倉吉市：関金地区版シタットベルケの構築について

出雲市：出雲市デジタル地域通貨「いずも縁結びPAY」について

〔倉吉市〕

倉吉市では、倉吉市の交通空白解消に向けた関金地区の取組と、関金地区のエネルギー×交通・買い物支援・生活拠点の共創事業について説明を受けた。

関金地区は、岡山県と接する中山間地域であり、倉吉市の他の地域と比較して高齢化率が高く、地区全体で35%の人がバス停から400m以上離れたエリアに居住しており、地区唯一のスーパーが閉店するなどの課題を抱えていた。

これらの課題を解決するため、外出を促進する予約型乗合タクシーの運行、生活・観光拠点と乗合タクシーの連携による新たなサービス等の検討、乗合タクシーを活用した高齢者等への買い物支援の検討、高齢者等へのIT利活用の推進・支援と地域との連携による利用推進、再生可能エネルギーを活用した持続可能な仕組みの検討を行っている。

また、耕作放棄地解消も兼ねた取組として、遮光の影響を受けにくいどくだみを栽培する営農型太陽光発電を大規模に展開し、発電したエネルギーを集会施設や住民へ供給することで、農地の維持と地域経済の活性化を図る取組を実施している。

委員からは、再生可能エネルギーを推進する際に、景観、環境への負荷を考えながら、どのように事業を実施していくのかなどについて質問が出された。



(倉吉市での視察風景)

〔出雲市〕

出雲市では、出雲市デジタル地域通貨「いづも縁結びP A Y」について説明を受けた。

いづも縁結びP A Yとは、出雲市内の加盟店で利用できるチャージ型の電子マネー決済サービスであり、地域経済の活性化と好循環、行政と市民のデジタル化の推進、観光客の獲得などを目的として、令和7年2月1日から運用を開始しており、令和7年10月5日現在、543店舗が加盟、18,215人が登録している。

令和7年7月28日～8月18日まで、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を財源として、プレミアム付きデジタル商品券事業を実施し、額面1,300円の商品券を1,000円で販売した。

事業実施に当たり、国のデジタル田園都市構想交付金の交付を受けており、出雲市中小企業振興モデル事業による実証事業や、出雲市商工団体協議会からのデジタル地域通貨の導入に向けての要望書の提出を受け、事業実施に至った。

また、民間のチャージ型電子マネー決済サービスと違う取組としては、行政ポイントの取組があり、市が実施する事業への参加者や登録者などに対し、行政ポイントを付与することで、行政施策の推進や課題の解決を図ることができるものである。参加が難しいものほど付与されるポイントを大きくするなど、イベントの内容ごとに差異を設け、令和7年度は、12事業約300万円分のポイントを付与することとしている。

委員からは、外貨の獲得という面から、観光客へのどのような施策を考えているか、プレミアム付きデジタル商品券事業が終わった後の、いづも縁結びP A Yの利用拡大についてなどの質問が出された。



（出雲市での視察風景）